

中央防災会議
「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に
関する専門調査会」
(第 3 回)

強震動・津波等の推計手法について
(図表集)

平成 16 年 5 月 12 日

中央防災会議事務局

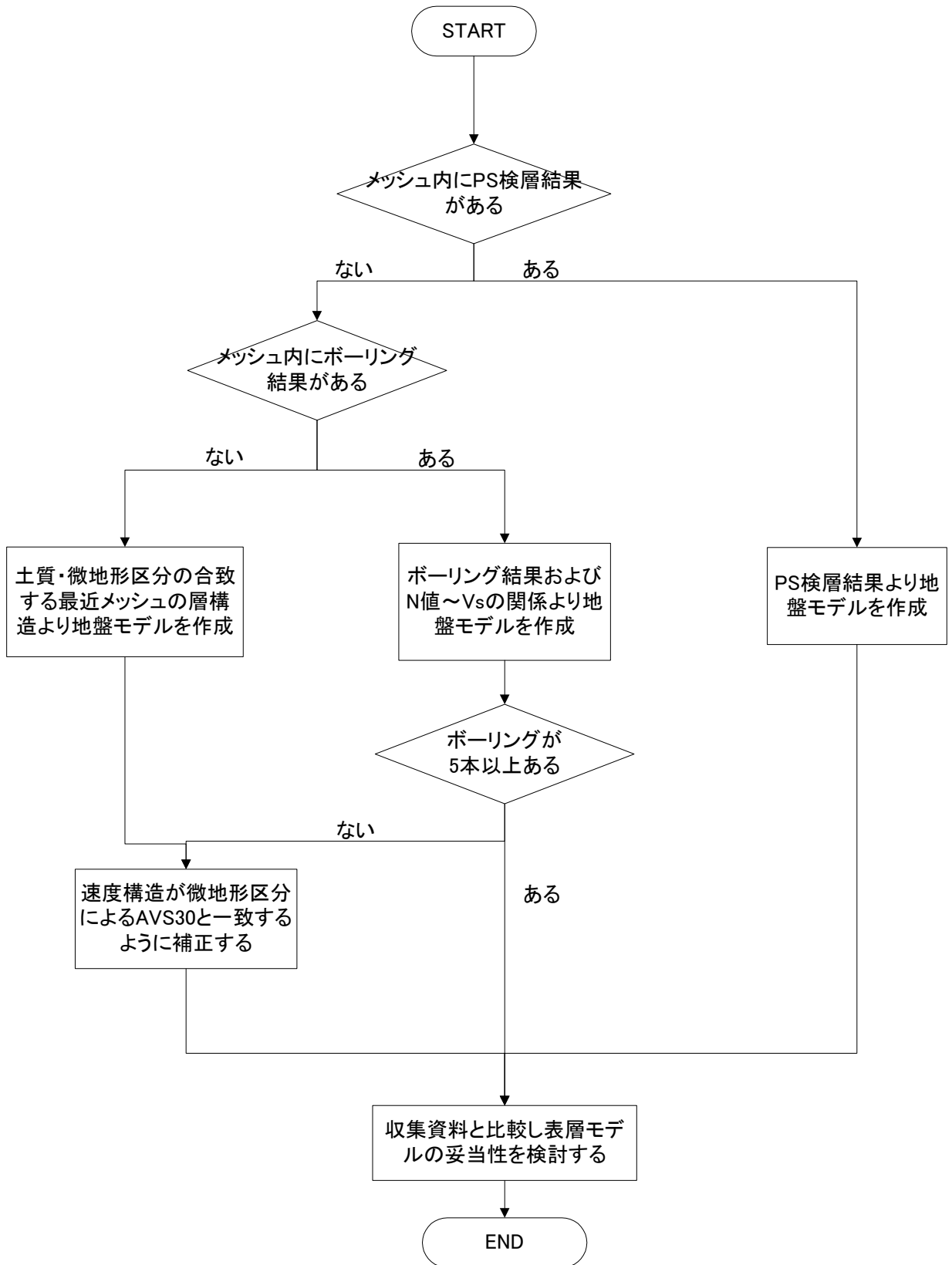


図 2. 1 表層地盤モデル作成の流れ

表 2. 1 微地形区分ごとの平均 S 波速度 (AVS) の経験式の係数一覧表

[μ 式]

コード	微地形区分	a	b	c	σ	
3~5	古生代・中生代・古第三紀	2.90	0.00	0.00	0.15	
6	新第三紀	2.53	0.00	0.00	0.07	
7	他の地形	2.20	0.13	0.00	0.15	200<AVS<350
8	丘陵地	2.51	0.00	0.00	0.16	
9	砂礫台地	2.48	0.00	0.00	0.14	
10	ローム台地	2.09	0.23	0.00	0.10	200<AVS<400
11	扇状地	2.49	0.00	0.00	0.10	
12	砂州・砂丘	2.31	0.00	0.00	0.12	
13	谷底平野	2.08	0.19	0.00	0.15	162<AVS<300
14	自然堤防	2.06	0.26	0.00	0.14	162<AVS<400
15	後背湿地・デルタ (D>0.5)	2.27	0.00	0.19	0.13	AVS<250
16	後背湿地・デルタ (D \leq 0.5)	2.21	0.00	0.00	0.11	
17	人工改変地	2.39	0.00	0.00	0.14	
18	埋立地・干拓地	2.23	0.00	0.00	0.19	
21	火山	2.20	0.13	0.00	0.15	200<AVS<350

[$-\sigma$ 式]

コード	微地形区分	a	b	c	
3~5	古生代・中生代・古第三紀	2.75	0.00	0.00	
6	新第三紀	2.46	0.00	0.00	
7	他の地形	2.05	0.13	0.00	145<AVS<250
8	丘陵地	2.35	0.00	0.00	
9	砂礫台地	2.34	0.00	0.00	
10	ローム台地	1.99	0.23	0.00	160<AVS<320
11	扇状地	2.39	0.00	0.00	
12	砂州・砂丘	2.19	0.00	0.00	
13	谷底平野	1.93	0.19	0.00	125<AVS<210
14	自然堤防	1.92	0.26	0.00	125<AVS<290
15	後背湿地・デルタ (D>0.5)	2.14	0.00	0.19	AVS<200
16	後背湿地・デルタ (D \leq 0.5)	2.10	0.00	0.00	
17	人工改変地	2.25	0.00	0.00	
18	埋立地・干拓地	2.04	0.00	0.00	
21	火山	2.05	0.13	0.00	145<AVS<250

$$\log AVS = a + b \log H + c \log D \pm \sigma$$

AVS : 地表から深さ 30m までの平均 S 波速度

H : 標高 (m)

D : 主要河川からの距離 (km)

σ : 標準偏差

a, b, c : 微地形区分ごとに与えられる回帰係数

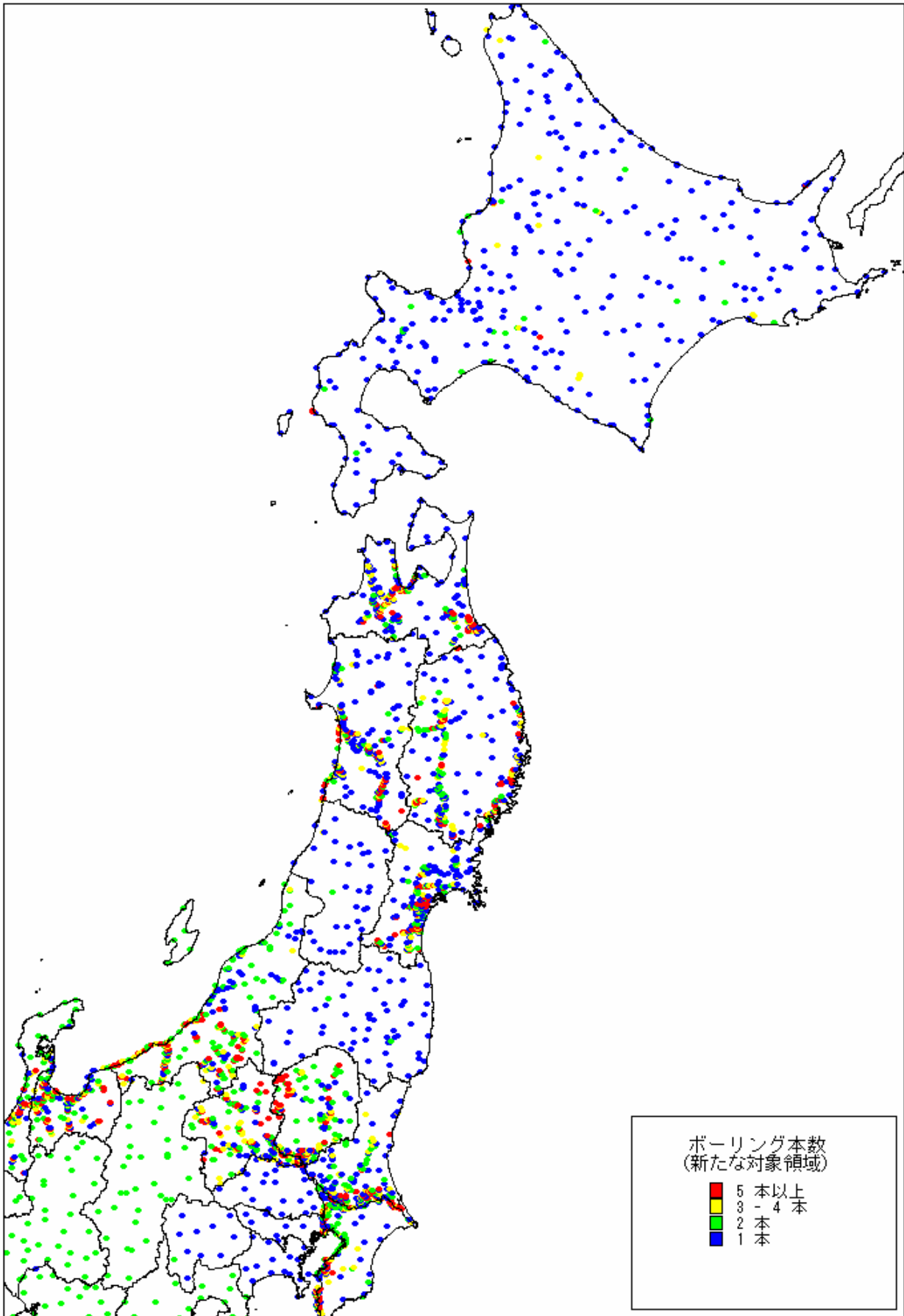


図 2. 2 検討範囲の PS 検層を有するボーリング本数

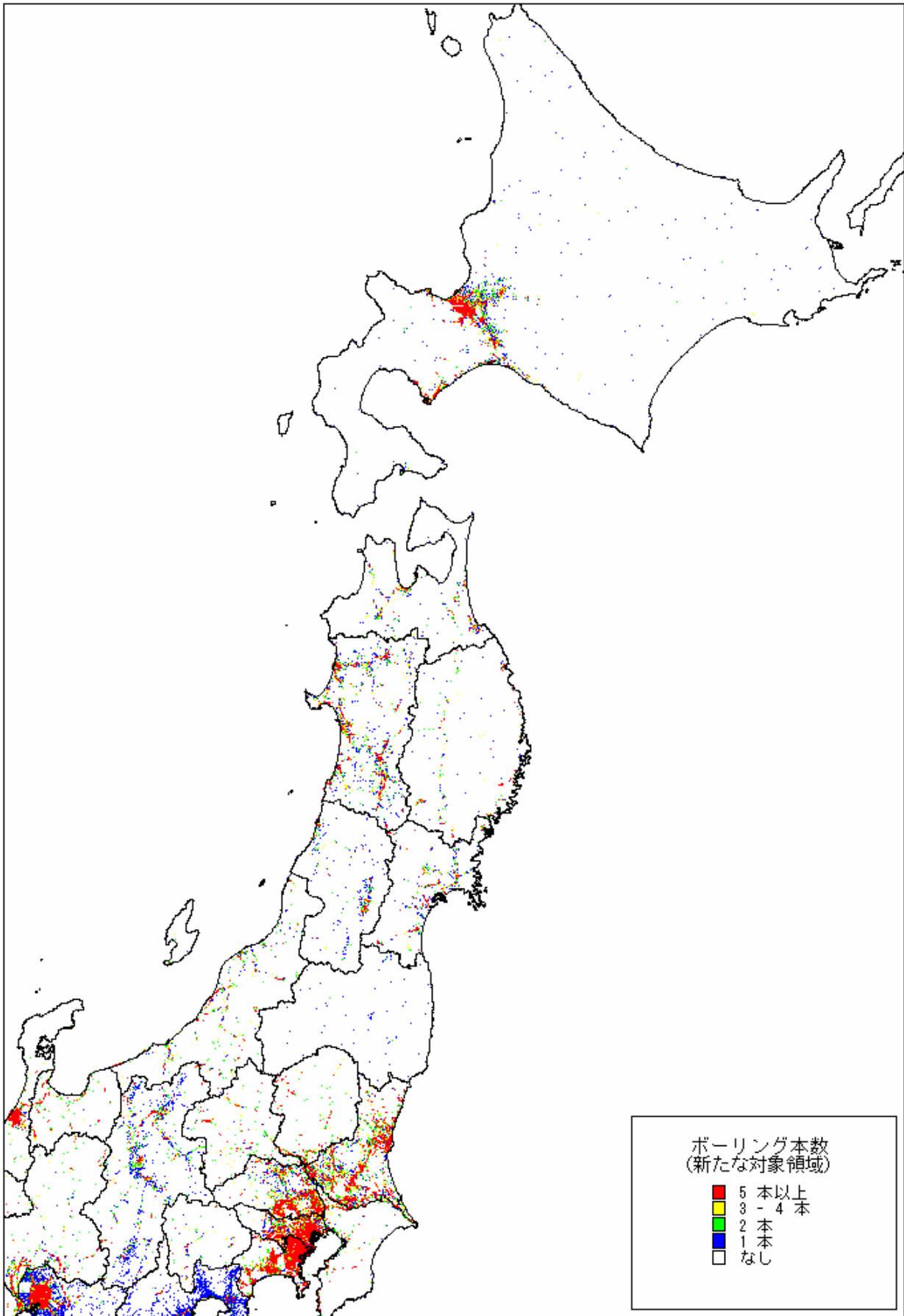


図 2. 3 検討範囲のボーリング本数

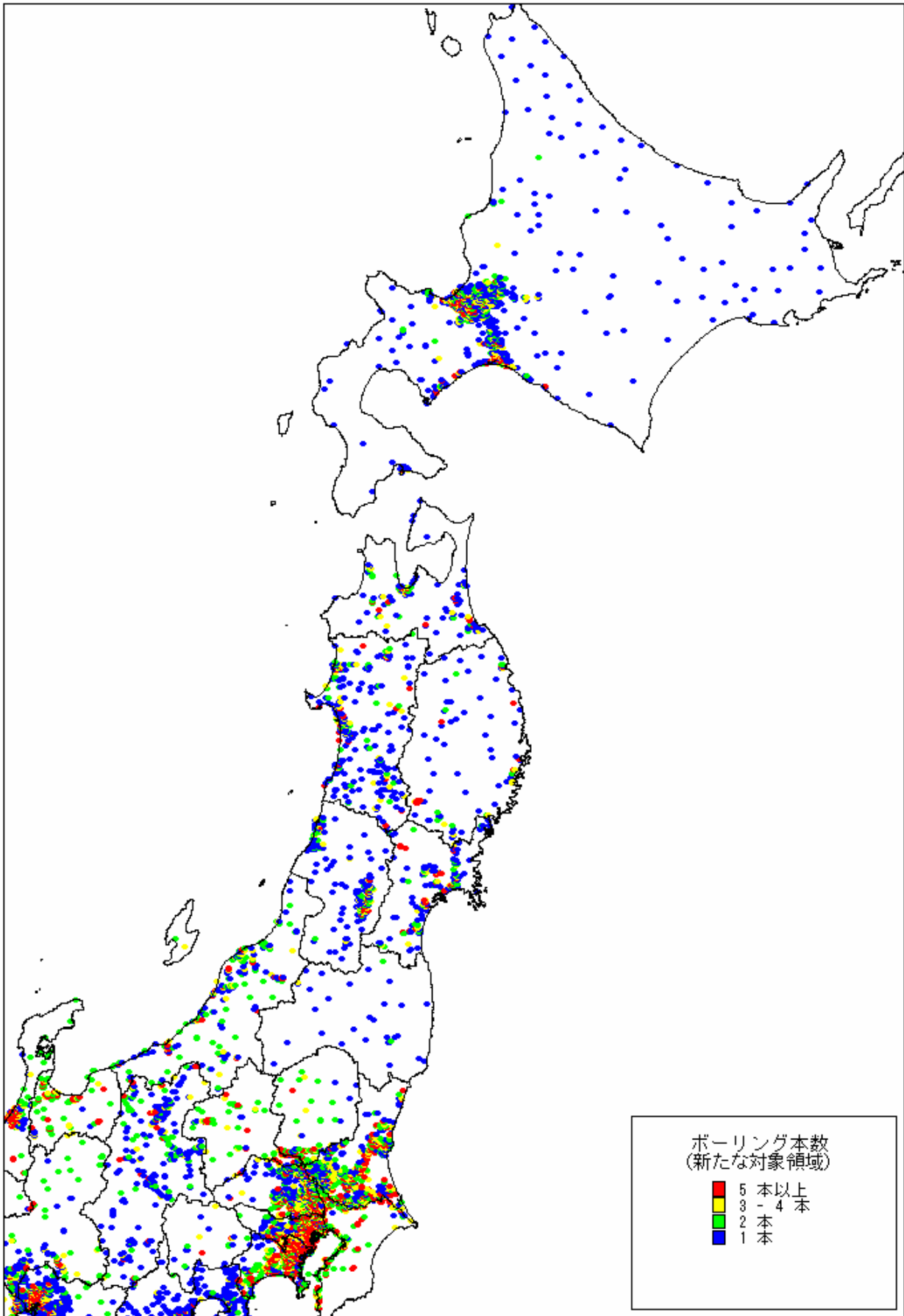


図 2. 4 検討範囲のボーリング本数 (掘進長 30m 以上)

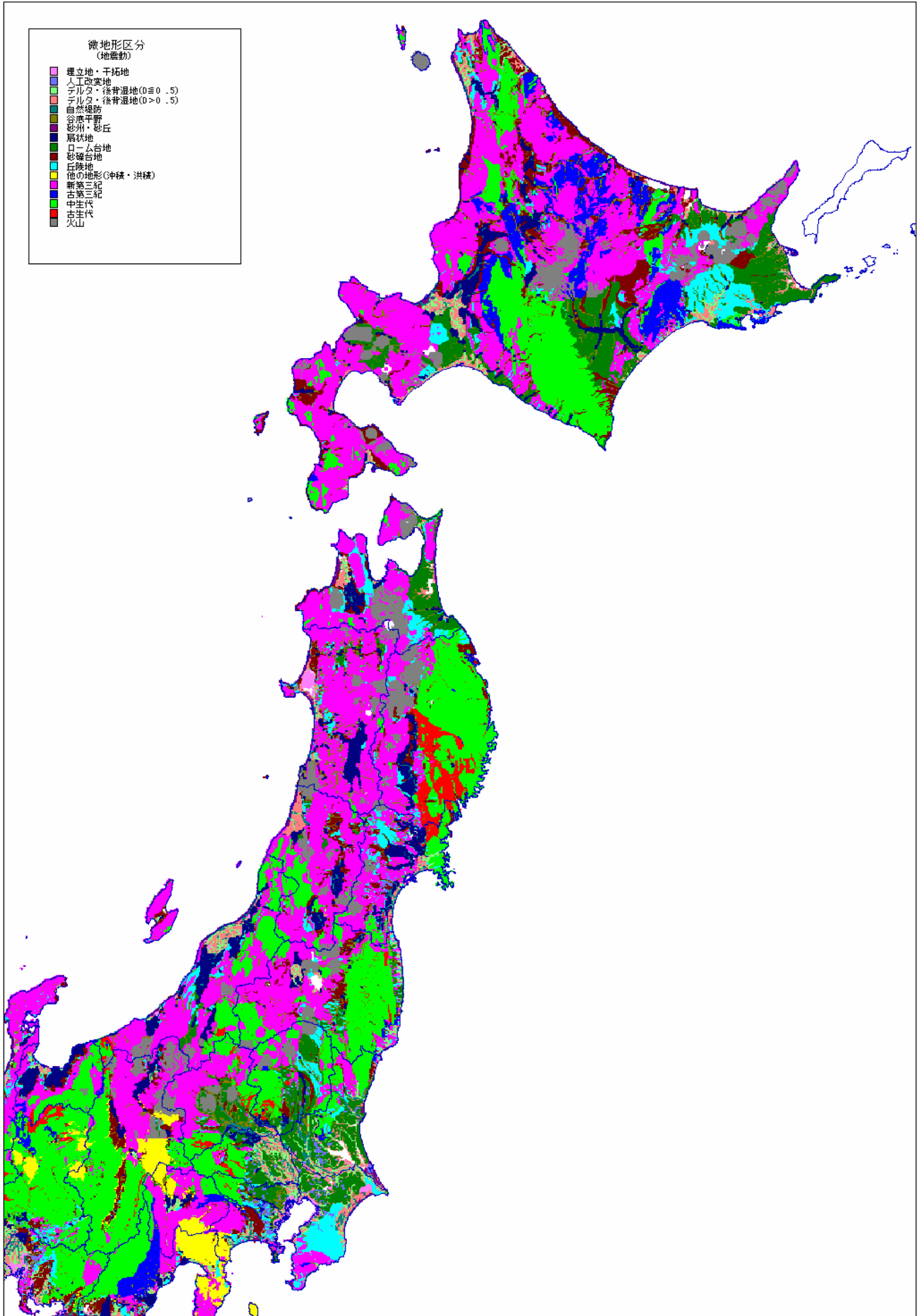


図 2. 5 検討範囲の微地形区分

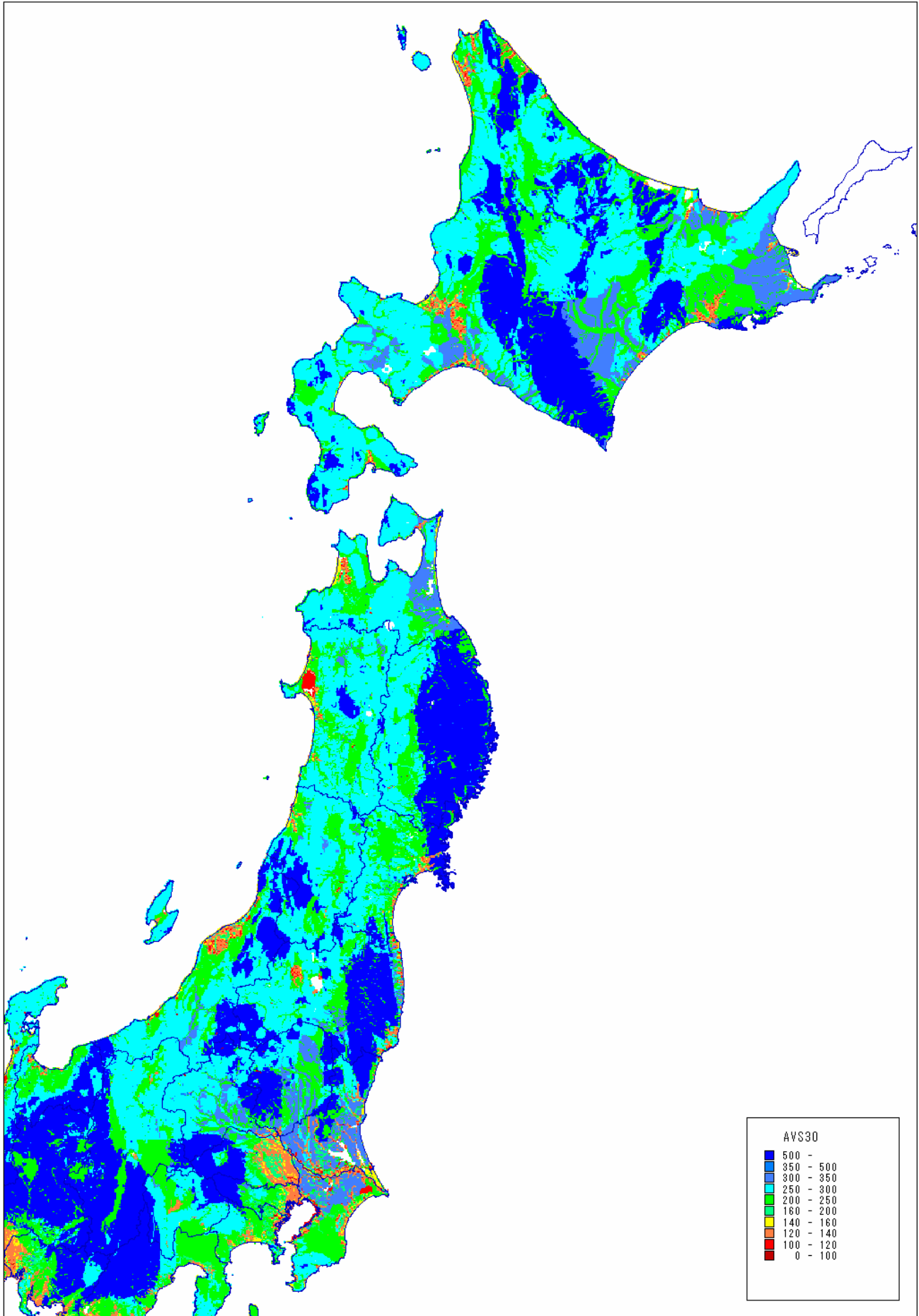


図 2. 6 検討範囲の微地形区分およびボーリングデータから求めた AVS30

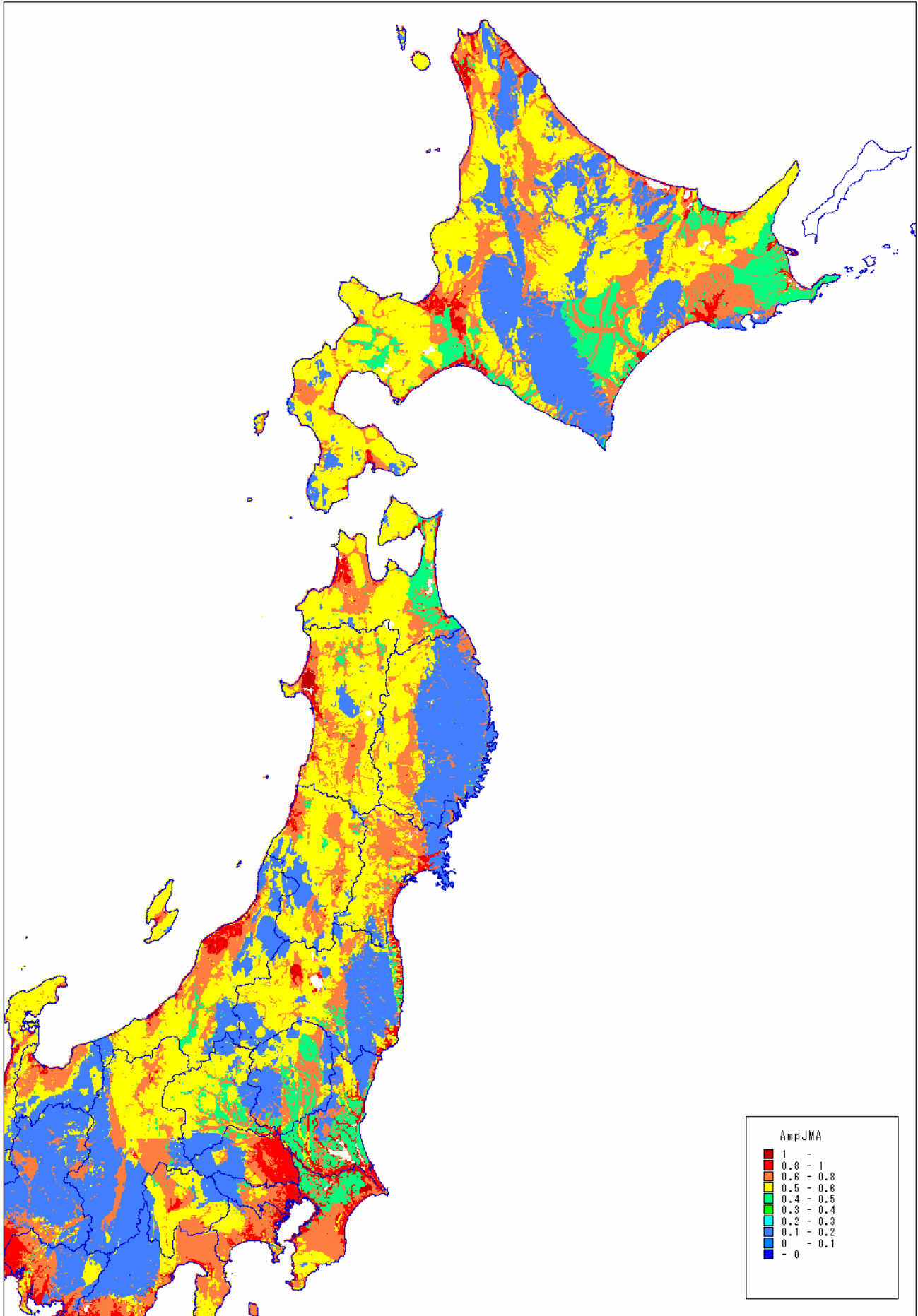


図 2. 7 検討範囲の微地形区分およびボーリングデータから求めた速度増幅率